



### 由緒のあるふるさとのお社

#### 豊玉姫神社(南九州市知覧町郡)

NPO法人かごしま探検の会 東川隆太郎

主祭神の豊玉姫命は、日向神話では彦火火出見命と結ばれる姫君として語られる。南九州には、その二柱及び、その家族にまつわる神話ゆかりの地が数多く点在する。そのなかでも南九州市知覧町には当社が鎮座するだけに、豊玉姫伝説が各地に根付いている。

地域に伝わる神話では、豊玉姫とその妹の玉依姫は所有する土地を取り違えたとされている。始めは豊玉姫が川辺の地をもらい、玉依姫が知覧をもらう予定であった。ところが現在、南九州市知覧町西元にある取違という地名の場所で、玉依姫が先に川辺に向かってしまったために、豊玉姫が知覧に向かうことになったという。そのことが地名にもなり、現在知覧の地に豊玉姫神社が鎮座する由縁となったとされている。ちなみに川辺には飯倉神社という玉依姫が主祭神の神社がある。

さて、豊玉姫神社は古くは中宮大明神とも称されており、開闢宮こと枚聞神社の神領としての関係から知覧院に鎮座するようになったというのが史料からたどれる。また、現在地に社殿が置かれるようになったのは、慶長15(1610)年とされ、それまでは亀甲城の麓である現在の知覧武家屋敷群内にあったとされている。延宝8(1680)年以降、代々赤崎家が宮司を世襲で司り、それは現在にまで至っている。

毎年、神社の伝統行事である六月灯においては、神社前の用水路の流水を動力源とした水車カラクリが登場し、参拝客を楽しませてくれる。これは太平洋戦争中に一時期中断されていたが、昭和54年に保存会の人々が尽力したことにより復活した。祭りの日には実際に稼働する様子を楽しむことができるが、それ以外の日にも水車カラクリの人形だけは常設してあるので、巧みに飾られた人形の姿などに参拝と同時に触れることができる。

神社から程近い田園の真ん中には主祭神の陵墓とされる空間がある。昔からこの地には鍬を入れてはならないとされ、周囲が田んぼのなかで際立つように石造の囲みが円形に組まれている。神社と合わせて訪れてほしい場所である。



# 鹿児島商工会議所青年部(YEG)活動紹介

9月例会事業『未来を育む〜これからの鹿児島を担う子どもたちのために〜』開催

日時：令和5年9月27日(水)  
場所：アィム14階大会議室

鹿児島YEGの9月例会事業として、『未来を育む〜これからの鹿児島を担う子どもたちのために〜』と題するグループディスカッション事業を開催しました。

鹿児島YEGでは、令和元年度から政策提言活動を行っています。昨年度から、より会員の意見を集約した提言活動を行うため、その年度の提言テーマに関するグループディスカッションを開催しております。

事業名である「未来を育む」は、今年度の鹿児島YEGスローガンの一部からとっています。今年度は、会員の関心が高い「子どもに関する政策」について提言活動を行う予定であり、鹿児島の未来を担う子どもたちを育むためにはどうすればよいのか、熱い議論が交わされました。

また、先に触れた今年度のスローガンは、「不易流行〜未来を育む〜」というものなのですが、この「不易流行」という視点も踏まえ、鹿児島YEGが過去に「子ども食堂」と協力した事業を行っていたことに着

目し、かごしま子ども食堂支援センターたくしての園田理事長をお呼びして、子ども食堂活動の概要をご説明いただいたうえで、将来鹿児島YEGが再び子ども食堂と連携した事業を行うとすれば？というテーマでも意見交換も行いました。事業終了後には会員メンバーのお店で懇親会も行いましたが、事業のときの勢いのまま、活発な交流も行うことができ、全体として有意義な事業になったのではないかと思います。



## 『令和5年度鹿児島商工会議所青年部10月例会 第31回臨時会員総会』開催

日時：令和5年10月25日(水)  
場所：エルセルモ鹿児島

令和5年度鹿児島商工会議所青年部10月例会 第31回臨時会員総会がエルセルモ鹿児島にて開催されました。

例年10月例会、臨時会員総会では、次年度の理事及び監事の選任が行われます。ただ、本年度の臨時会員総会では、これに加えて会員規則改正(案)の審議も議題となっていました。そしてそれらいずれの議題についても、審議の上承認されました。

笠毛寛大(みのる印刷㈱)代表取締役(令和6年度会長予定者)からは、令和6年度に向けての思いが語られました。また、当会は、令和6年度は、日本商工会議所青年部第44回九州ブロック大会かごしま大会を主管致します。この九州ブロック大会についても、一丸となって邁進していくと熱い言葉が発信されました。

勿論、まずは、本年度の「不易流行」のスローガンのもと、橋野佳太郎会長の思いとともに残り半年、各委員会、趣向を凝らした会員のため、地域社会のための事業を構築し、進めて参ります。

会員総会終了後の懇親会では、例年の南九州三県交流会議でも宮崎YEGの豊浦会長をはじめとするメンバーの皆様もお越し頂き、第2回YEG九州ゴルフトーナメントみやぎ大会のPRを行って頂きました。1回目は私たち鹿児島YEGの主管で昨年度開催し、今年度宮崎YEGさんへバトンを渡した思い入れのある大会です。鹿児島

からも多くの会員で参加しようと思っております。

当会員総会を担当した総務委員会では、今回の臨時総会では会員の総意としての総会を開催するために、出席されない方の意思表示のために委任状の100%回収を委員会目標として活動してまいりました。

残念ながら99%回収となり、100%には到達しませんでした。また次の3月の総会に向けて委員会メンバーと課題を共有し、よりよい総会に向けて準備を進めて参りたいと思います。



鹿児島YEGのホームページはこちら↓



# ITを事例からひも解く

## 「業界の変化を先取りし、デジタルと人の役割分担を明確に」

本連載では、IT経営マガジン「COMPASS」に掲載した全国のIT活用事例をもとに、中小企業の経営において、ITがどのように役立つかを解説していきます。

IT経営マガジン「COMPASS」2021年夏号から転載します(記載内容は掲載時点のものです)。

「3年計画のDX推進を一気に前倒しました」  
山梨県甲府市を中心に不動産業を営む、けやき総合管理の谷隆仁社長は、当初の計画表を書き換え、精力的にデジタル化を進めている。

同社は賃貸物件の仲介業(一般顧客対象)と賃貸物件管理業(物件オーナーが顧客)を主要事業とし、5店舗を構える。

賃貸仲介業においては、デジタル改革関連法にともなう宅地建物取引業法の改正により、2022年から賃貸仲介における契約書や重要事項説明書等の電子化・押印廃止が認められ、大きな節目を迎えた。オンライン化で不動産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション デジタルを活用した革新、新しいサービスの開発等)を加速できるチャンスだ。

けやき総合管理では、19年秋、ペーパーレスと業務効率化を目指し、賃貸物件仲介業務(募集、広告、契約、顧客管理など)をカバーするITツール「ESいい物件One」(いい生活社)を導入した。IT導入補助金にも採択されたという。

不動産業界においては、物件を借りる顧客側の情報収集はネットにシフトしてきたが、物件を決めた後にたくさんの書類に記入し押印するスタイルは変わらずであった。

「マンパワーに頼っていたら、働き方も変わりません。ITシステムを使って工数を減らし、FAXや電話の利用もできるだけ抑えたいと考えました」

谷社長は、これまでの業界の常識を時代に即して変えていこうと挑戦を始めた。

不動産業界のITツールは様々に提供されており、比較した結果、拡張性があること、ITベンダーとのやり取りにおいて常に改良を重ねていく姿勢を感じたことから、このツールを選択したという。

導入後は、問い合わせから成約まで顧客との接点を追いやすくなった。ネットからの問い合わせ情報を取り込み、また直接来店した顧客にはタブレットから情報を入力してもらうことで、顧客情報をデータ化する。内見記録などその後のやり取りを把握し、再来店の際にもきめ細かい接客を可能にした。また、これまで入居募集を開始した物件情報は複数のネット紹介サイトに手作業でアップしていたが、システムの機能を用いて、1度の操作で数社のサイトに情報を公開できるようになった。

店内では物件情報をタブレットで提示し、紙を減らす工夫もしている。また、VR(Virtual Reality その場にいなくても空間の様子をデジタル表現する)を使った内見サービスなども提供中だ。

こうした取り組みの結果、物件情報サイトへの物件公開作業時間が3割短縮、残業時間の削減など効率化を図ることができた。

IT活用により捻出した時間で、日々の業務はどのように変わっていくのだろうか。

「賃貸仲介事業に関しては、より豊かな情報を発信したり、ホームステージングなど住み方の提案をしたり、働き方が変わでしょう。賃貸物件管理事業では、人脈を広げ物件オーナーのことをよく理解し、提案する力が勝負になります。お客様が求めるものに沿ってマインドを変えられるかどうか。会社の新しいスキーム作りを急ピッチで進めつつ、人材育成にも力を注いでいきます」

谷社長は、今後の不動産賃貸事業の在り方についてこう締めくくった。

### 会社概要

株式会社けやき総合管理

山梨県甲府市国母 5-9-19

設立：2008年

従業員数：正社員 20人 パート 10人

事業内容：賃貸、アパート・マンション管理業務、  
駐車場等管理業務、不動産仲介、住宅改修・  
リフォーム・リノベーションなど

URL：<https://www.keyaki-s.com/>

### 【事例からヨミトル】

- ・業界の常識は変わっていくことを前提に変革を進めていきましょう。
- ・業種に特化したITツールは、業界ならではの効率化を実現できます。
- ・IT活用で効率化した時間を付加価値の高い業務に投下していきましょう。

### IT経営マガジン「COMPASS」編集長 石原 由美子



いしはら・ゆみこ

#### PROFILE

アップコンパス代表。教材編集や講師業を経て、情報処理技術者試験の書籍編集、モバイル分野の雑誌編集を担当した後、IT経営マガジン「COMPASS」  
<https://www.compass-it.jp/>の編集に携わる。中小企業支援機関・支援者と連携しながら、中小企業が主体となる等身大のIT活用をテーマに、全国の事例取材し、その本質を伝えている。各地の商工会議所においても、IT活用事例・DX入門等のセミナーを担当。



trend communication

# トレンド通信



## 「重富さんのビール体験がもたらす『モノやコト』以上のもの」

東京・銀座の広島県アンテナショップに、「ビール注ぎ名人」と呼ばれる重富寛(ゆたか)さんが4年ぶりに出張したので、訪ねてきました。普段は広島市の繁華街で、家業である重富酒店の一角で「ビールスタンド重富」という角打ちを拠点にしています。今年5月のG7広島サミットでは、国際メディアセンターでその名人芸を披露し、内外のメディアで話題になりました。

戦前からある注ぎ口を復刻したサーバーと現代のビールサーバーを駆使し、注ぎ方を変えるだけで、一つの銘柄の生ビールの味わいや口当たりをさまざまに変化させて提供します。それぞれの異なった味わいは、注ぎ方の違いでメニュー化されており、今回の東京遠征では6種類を出していました。

初めて聞いた時はとても信じられず、実際に広島を訪ねて体験する前は「催眠術かオカルトの類いか」と思っていました。どうしてそんなことが可能なのか。かいつまんで言うと、注ぐ時グラスに入る流量や流速を変えて、発生する泡の密度や液体中の炭酸ガスの量などを制御しています。味わいや口当りに影響する要素を注ぎ方で物理的に変え、その結果生じる微妙な違いを再現性高くコントロールしているのです。実際に何種類か飲んでみると違いに驚かされます。

それだけでなく重富さんのビール体験には、単においしいビールを飲むという行為以上の面白さと感動があります。ビールを注いでもらう間や味わっている間に重富さんは、ビールがいかに人類を長きにわたって幸せにしてきたか、そのためにビールづくりを手掛けた人たちがいかに苦労したかなど、さまざまなお話を聞かせてくれます。

重富さんが繁華街の一角で営むビールスタンドは、営業時間が午後5時から7時まで。食事やつまみも出さず、一人2杯までの制限もあります。それでも時によっては数十人が行列をつくり、開店早々に行っても1時間以上待つことがあります。これだけ人気店なのに、客単価を上げようとしないのは、そもその営業目的が自身の店の売り上げではなく、お客さんを集めて近隣の繁華街に回遊させる“ポータル”の役割を目指しているからです。また、その知識やテクニクを惜しげもなく同業者に伝えていて、広島重富酒店の近くだけでなく、全国で重富さんの弟子や生徒に当たるビール注ぎ職人を育てています。



**Watanabe Kazuhiro**  
わたなべ・かずひろ

### PROFILE

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に「地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり」(日経BP社)。

ル(モノ)と、面白いお話やお店での人との出会いなどの体験(コト)以上に、こうした姿勢や考えに触れることで1杯のビールが客にとって特別なもの変わっているのです。誰にでもできることではありませんが、どんなサービス業にも通じる大切な要素を含んでいると感じます。重富さんは、客が店を出る時「行ってらっしゃい」と声を掛けま

す。その声を背中に聞いて、客は少し前向きになっていく自分に気付くのです。私もそうでした。

日経BP総合研究所 上席研究員

渡辺 和博